



# 津山工業高等専門学校校報

第162号

令和5年 5月29日発行

(令和4年12月1日～令和5年3月31日)

## 目 次

|  |    |
|--|----|
| 校内諸規則                                  | 2  |
| 人事異動                                   | 6  |
| 主要日誌                                   | 6  |
| 諸 報                                    |    |
| ○入寮説明会                                 | 8  |
| ○令和4年秋の叙勲伝達式                           | 8  |
| ○先端技術特別講義                              | 8  |
| ○津山高専技術交流プラザ企業PR会                      | 9  |
| ○国際シンポジウムにて研究発表                        | 9  |
| ○つやまロボコンに（PCSHS）プリラム校の学生が参加            | 9  |
| ○先端技術特別講義                              | 10 |
| ○合同研究発表会2022（オンライン）                    | 10 |
| ○津山高専技術交流プラザ会員企業への津山高専教員の研究内容紹介        | 10 |
| ○日タイ学生ICTフェア2022                       | 11 |
| ○第57回全国高等専門学校体育大会・第53回全国高専ラグビーフットボール大会 | 11 |
| ○寮生集会                                  | 11 |
| ○推薦入学者選抜試験                             | 11 |
| ○岡山県工学教育協議会                            | 12 |
| ○中国地区高等専門学校学生国際交流支援コンソーシアム連絡会（第13回目）   | 12 |
| ○推薦入学者選抜試験追試験                          | 12 |
| ○第16回全国高等専門学校英語プレゼンテーションコンテスト          | 12 |
| ○第4回FD研修会                              | 12 |
| ○退寮説明会                                 | 12 |
| ○ロボット技術研究部がプロバスケットボールのハーフタイムショーに出演     | 13 |
| ○SD研修会                                 | 13 |
| ○海外研修説明会                               | 13 |
| ○寮生会抽選会                                | 13 |
| ○学力入学者選抜試験                             | 13 |
| ○海外企業インターンシップ（ベトナム）                    | 13 |
| ○津山高専技術交流プラザ・津山商工会議所合同産学連携交流会          | 14 |
| ○シンガポール科学技術研修                          | 15 |
| ○韓国永進専門大学語学研修プログラム                     | 15 |
| ○国立聯合大学専門研修                            | 15 |
| ○入学説明会，入学手続き                           | 15 |
| ○韓国永進専門大学校を表敬訪問                        | 15 |
| ○第5回FD研修会                              | 16 |
| ○寮生会活動報告会・北辰寮後援会役員会                    | 16 |
| ○中国地区高専第30回コンピュータフェスティバル               | 16 |
| ○卒業式・専攻科修了式                            | 16 |
| ○退職者に係る永年勤続者表彰式                        | 16 |
| ○退任式・離任式                               | 16 |
| ○共同研究                                  | 17 |
| ○寄附金                                   | 17 |

## 校内諸規則

### ◎ 津山工業高等専門学校学則の一部改正

- 1 改正番号 学則第1号
- 2 規程の名称 津山工業高等専門学校学則
- 3 改正年月日 令和5年2月22日
- 4 改正者 津山工業高等専門学校長 岩佐健司
- 5 改正理由 校長がそのつど定めるとしていた前・後期の終始について、学則に明記する。  
また、別表第1について、高等学校学習指導要領変更に伴い変更となった科目名に対応するため、社会科科目について科目名の変更を行う。

### ◎ 津山工業高等専門学校学則の一部改正

- 1 改正番号 学則第2号
- 2 規程の名称 津山工業高等専門学校学則
- 3 改正年月日 令和5年3月24日
- 4 改正者 津山工業高等専門学校長 岩佐健司
- 5 改正理由 「情報処理」関係の科目について、技術者教育プログラムの表2の内容を、MSとECで基準を統一することとし、「情報処理基礎演習Ⅰ」、「情報処理応用演習Ⅰ」、「情報処理基礎演習Ⅱ」、「情報処理応用演習Ⅱ」（各1単位）の中からいずれか1単位を修得することとしたため。

### ◎ 津山工業高等専門学校サイバーセキュリティ管理規程の一部改正

- 1 改正番号 規程第16号
- 2 規程の名称 津山工業高等専門学校サイバーセキュリティ管理規程  
(旧：津山工業高等専門学校情報セキュリティ管理規程)
- 3 改正年月日 令和4年12月19日
- 4 改正者 津山工業高等専門学校長 岩佐健司
- 5 改正理由 高専機構の示す情報関係規程ひな形の修正へ対応、及び本校の現状に即した運用のための改正

### ◎ 津山工業高等専門学校サイバーセキュリティ推進規程の一部改正

- 1 改正番号 規程第17号
- 2 規程の名称 津山工業高等専門学校サイバーセキュリティ推進規程  
(旧：津山工業高等専門学校情報セキュリティ推進規程)
- 3 改正年月日 令和4年12月19日
- 4 改正者 津山工業高等専門学校長 岩佐健司
- 5 改正理由 高専機構の示す情報関係規程ひな形の修正へ対応するための改正

### ◎ 津山工業高等専門学校サイバーセキュリティ教職員規程の一部改正

- 1 改正番号 規程第18号
- 2 規程の名称 津山工業高等専門学校サイバーセキュリティ教職員規程  
(旧：津山工業高等専門学校情報セキュリティ教職員規程)
- 3 改正年月日 令和4年12月19日
- 4 改正者 津山工業高等専門学校長 岩佐健司
- 5 改正理由 高専機構の示す情報関係規程ひな形の修正へ対応、及び本校の現状に即した運用のための改正

◎ 津山工業高等専門学校サイバーセキュリティ学生規程の一部改正

- 1 改正番号 規程第19号
- 2 規程の名称 津山工業高等専門学校サイバーセキュリティ学生規程  
(旧：津山工業高等専門学校情報セキュリティ学生規程)
- 3 改正年月日 令和4年12月19日
- 4 改正者 津山工業高等専門学校長 岩佐健司
- 5 改正理由 高専機構の示す情報関係規程ひな形の修正に伴う関連規程の整備，及び本校の現状に即した運用のための改正

◎ 津山工業高等専門学校総合支援センター規程の一部改正

- 1 改正番号 規程第1号
- 2 規程の名称 津山工業高等専門学校総合支援センター規程
- 3 改正年月日 令和5年1月24日
- 4 改正者 津山工業高等専門学校長 岩佐健司
- 5 改正理由 総合支援センターの現行の運用に合わせ，規程を一部改正する。

◎ 津山工業高等専門学校文書処理規程の一部改正

- 1 改正番号 規程第2号
- 2 規程の名称 津山工業高等専門学校文書処理規程
- 3 改正年月日 令和5年1月24日
- 4 改正者 津山工業高等専門学校長 岩佐健司
- 5 改正理由 国際交流係の配置に伴い，文書の専決者を変更する。

◎ 津山工業高等専門学校公印規程の一部改正

- 1 改正番号 規程第3号
- 2 規程の名称 津山工業高等専門学校公印規程
- 3 改正年月日 令和5年1月24日
- 4 改正者 津山工業高等専門学校長 岩佐健司
- 5 改正理由 上位規則の名称変更に伴い，語句の変更を行う。

◎ 津山工業高等専門学校労働時間管理者の指名に関する規程の一部改正

- 1 改正番号 規程第4号
- 2 規程の名称 津山工業高等専門学校労働時間管理者の指名に関する規程
- 3 改正年月日 令和5年1月24日
- 4 改正者 津山工業高等専門学校長 岩佐健司
- 5 改正理由 校内組織において学術連携・国際企画室が企画・連携室に名称変更したことに伴い，語句の変更を行う。

◎ 津山工業高等専門学校外国人受託研修員規程の一部改正

- 1 改正番号 規程第5号
- 2 規程の名称 津山工業高等専門学校外国人受託研修員規程
- 3 改正年月日 令和5年1月24日
- 4 改正者 津山工業高等専門学校長 岩佐健司
- 5 改正理由 上位規則の改正に伴い，語句の変更を行う。

◎ 津山工業高等専門学校専攻科の授業科目の履修等に関する規程の一部改正

- 1 改正番号 規程第6号
- 2 規程の名称 津山工業高等専門学校専攻科の授業科目の履修等に関する規程
- 3 改正年月日 令和5年1月24日
- 4 改正者 津山工業高等専門学校長 岩佐健司
- 5 改正理由 改元に伴い、様式の元号に係る記載の削除を行う。

◎ 津山工業高等専門学校学外実習実施規程の一部改正

- 1 改正番号 規程第7号
- 2 規程の名称 津山工業高等専門学校学外実習実施規程
- 3 改正年月日 令和5年1月24日
- 4 改正者 津山工業高等専門学校長 岩佐健司
- 5 改正理由 学会実習に係る事務担当を、現行の運用に即したものとするため改正を行う。

◎ 津山工業高等専門学校地域・国際交流実施規程の一部改正

- 1 改正番号 規程第8号
- 2 規程の名称 津山工業高等専門学校地域・国際交流実施規程
- 3 改正年月日 令和5年1月24日
- 4 改正者 津山工業高等専門学校長 岩佐健司
- 5 改正理由 改元に伴い、様式の元号に係る記載の削除を行う。

◎ 津山工業高等専門学校留学規程の一部改正

- 1 改正番号 規程第9号
- 2 規程の名称 津山工業高等専門学校留学規程
- 3 改正年月日 令和5年1月24日
- 4 改正者 津山工業高等専門学校長 岩佐健司
- 5 改正理由 改元に伴い、様式の元号に係る記載の削除を行う。

◎ 津山工業高等専門学校入学料免除等取扱規程の一部改正

- 1 改正番号 規程第10号
- 2 規程の名称 津山工業高等専門学校入学料免除等取扱規程
- 3 改正年月日 令和5年1月24日
- 4 改正者 津山工業高等専門学校長 岩佐健司
- 5 改正理由 入学料免除の許可手続きについて、上位規則の改正に伴い内容を変更する。

◎ 津山工業高等専門学校創立60周年記念誌編集委員会規程の制定

- 1 制定番号 規程第11号
- 2 規程の名称 津山工業高等専門学校創立60周年記念誌編集委員会規程
- 3 制定年月日 令和5年2月1日
- 4 制定者 津山工業高等専門学校長 岩佐健司
- 5 制定理由 令和5年度に本校創立60周年を迎えるにあたり、創立60周年記念事業実行委員会にて承認された記念誌の企画・立案・推進のため委員会を設置し、記念誌を作成する。

◎ 津山工業高等専門学校安全保障輸出管理に関する規程を廃止する規程の制定

- 1 制定番号 規程第12号
- 2 規程の名称 津山工業高等専門学校安全保障輸出管理に関する規程を廃止する規程
- 3 制定年月日 令和5年3月24日
- 4 制定者 津山工業高等専門学校長 岩佐健司
- 5 制定理由 「安全保障輸出管理の取扱要領」の制定に伴い、津山工業高等専門学校安全保障輸出管理に関する規程を廃止する。

◎ 津山工業高等専門学校事務組織規程の一部改正

- 1 改正番号 規程第13号
- 2 規程の名称 津山工業高等専門学校事務組織規程
- 3 改正年月日 令和5年3月24日
- 4 改正者 津山工業高等専門学校長 岩佐健司
- 5 改正理由 津山工業高等専門学校における事務組織改編のため内容の一部改正を行う。

◎ 津山工業高等専門学校事務分掌規程の一部改正

- 1 改正番号 規程第14号
- 2 規程の名称 津山工業高等専門学校事務分掌規程
- 3 改正年月日 令和5年3月24日
- 4 改正者 津山工業高等専門学校長 岩佐健司
- 5 改正理由 津山工業高等専門学校における事務組織改編のため内容の一部改正を行う。

◎ 津山工業高等専門学校教務委員会規程の一部改正

- 1 改正番号 規程第15号
- 2 規程の名称 津山工業高等専門学校教務委員会規程
- 3 改正年月日 令和5年3月24日
- 4 改正者 津山工業高等専門学校長 岩佐健司
- 5 改正理由 津山工業高等専門学校における事務組織改編のため内容の一部改正を行う。

◎ 津山工業高等専門学校専攻科運営規程の一部改正

- 1 改正番号 規程第16号
- 2 規程の名称 津山工業高等専門学校専攻科運営規程
- 3 改正年月日 令和5年3月24日
- 4 改正者 津山工業高等専門学校長 岩佐健司
- 5 改正理由 津山工業高等専門学校における事務組織改編のため内容の一部改正を行う。

◎ 津山工業高等専門学校広報委員会規程の一部改正

- 1 改正番号 規程第17号
- 2 規程の名称 津山工業高等専門学校広報委員会規程
- 3 改正年月日 令和5年3月24日
- 4 改正者 津山工業高等専門学校長 岩佐健司
- 5 改正理由 津山工業高等専門学校における事務組織改編のため内容の一部改正を行う。

## 人事異動

## 校内のみ

## 主要日誌

|         |                             |
|---------|-----------------------------|
| 12月 1 日 | 入寮説明会                       |
| 2 日     | 令和 4 年秋の叙勲伝達式，総合支援センター運営委員会 |
| 3 日     | 2～5 年生第 2 回単位認定試験           |
| 6 日     | 教務委員会，学生生活委員会，入寮説明会（現通学生向）  |
| 8 日     | 寮務委員会                       |

|          |   |
|----------|---|
| 9日       | 専攻科運営委員会  |
| 12日      | 企画会議  |
| 13日      | 運営会議, 寮一斉清掃   |
| 14日      | 永進専門学校(韓国)と国際学术交流に関する調印式                              |
| 19日～23日  | 安全衛生委員会(メール会議)  |
| 20日      | (臨時)運営会議, 広報委員会, 4年生TOEIC-IP試験                        |
| 24日      | 閉寮・閉寮点検   |
| 26日～1月6日 | 冬季休業  |
| 1月4日～9日  | 第57回全国高等専門学校体育大会・第53回全国高専ラグビーフットボール大会                 |
| 9日       | 開寮  |
| 10日      | 寮生集会  |
| 11日～12日  | 寮生ドッジボール大会  |
| 13日      | 入学試験委員会, 専攻科運営委員会                                     |
| 16日      | 企画会議  |
| 17日      | 推薦入学者選抜試験, 入学試験委員会                                    |
| 19日      | 入学試験委員会   |
| 21日      | 岡山県工学教育協議会  |
| 23日      | 推薦入学合格内定者発表   |
| 23日～27日  | 安全衛生委員会(メール会議)  |
| 24日      | 教務委員会, 3年生TOEIC-IP試験, 学生生活委員会                         |
| 26日      | 本科・専攻科補講日, 寮務委員会                                      |
| 27日      | 推薦入学者選抜試験追試験, 入学試験委員会                                 |
| 30日      | FD研修会, 企画会議, (臨時)教員会議,<br>推薦入学(追試験)合格内定者発表, 臨時学生生活委員会 |
| 30日～2月3日 | 本科・専攻科後期末試験   |
| 31日      | 運営会議  |
| 2月1日     | 国際交流センター運営委員会   |
| 2日       | 退寮説明会   |
| 2日～2月9日  | 広報委員会(メール会議)  |
| 6日       | SD研修会   |
| 7日       | 教員会議, 海外研修説明会, 寮一斉清掃, 寮生ドッジボール大会                      |
| 8日～9日    | 寮務委員会(メール会議)  |
| 9日       | 寮生会抽選会  |
| 12日      | 学力入学者選抜試験   |
| 13日      | 企画会議, 専攻科情報交換会  |
| 14日      | 教務委員会, 学生生活委員会  |
| 14日～20日  | 特別補習期間  |
| 16日      | 入学試験委員会   |
| 17日      | 寮務委員会   |
| 20日      | 専攻科運営委員会  |
| 20日～24日  | 安全衛生委員会(メール会議)  |
| 21日      | 運営会議, 国際交流センター運営委員会                                   |

|           |   |
|-----------|---|
| 21日～3月17日 | 特別教育期間  |
| 22日       | 地域共同テクノセンター運営委員会  |
| 27日       | 企画会議  |
| 28日       | 入学者選抜試験合格者発表，国際交流センター運営委員会（メール会議）   |
| 3月2日      | 教員会議，卒業判定会議，進級判定会議（1年生）<br>専攻科運営委員会（修了判定，技術者教育プログラム修了確認を含む），<br>臨時学生生活委員会 |
| 3日        | 研究推進委員会，教務委員会   |
| 3日～3月7日   | 地域共同テクノセンター運営委員会（メール会議）   |
| 5日        | 入学手続（1回目）   |
| 7日        | FD研修会   |
| 10日       | 教員会議，進級判定会議（2～4年生）  |
| 12日       | 寮生会活動報告会・北辰寮後援会役員会，寮務委員会，閉寮・閉寮点検  |
| 13日       | 企画会議  |
| 14日       | 広報委員会，教務委員会，学生生活委員会   |
| 15日       | 学術奨励賞表彰式  |
| 15日～16日   | 中国地区高専第30回コンピュータフェスティバル   |
| 16日       | 卒業式・専攻科修了式  |
| 18日       | 入学手続（2回目），令和4年度後援会役員会   |
| 20日～31日   | 学年末休業   |
| 23日       | 運営会議  |
| 24日       | 退職者に係る永年勤続者表彰式，退任式・離任式  |
| 27日～31日   | 安全衛生委員会（メール会議）  |
| 28日       | 国際交流センター運営委員会（メール会議）  |

## 諸 報

### ○入寮説明会

12月1日（木）及び6日（火）に、来年度の入寮を希望する寮生のため入寮説明会が行われた。  
本説明会では寮務主事から寮生へ、来年度の入寮選考にかかる手続きや選考基準の説明、今後の寮生活における注意などが行われた。

### ○令和4年秋の叙勲伝達式

令和4年秋の叙勲において、稲葉英男元校長が瑞宝中綬章を受章された。  
本来であれば、文部科学省主催で伝達式が行われるが、新型コロナウイルス感染防止の観点から中止となった。そのため、12月2日（金）に本校にて伝達式を行い、岩佐校長から勲記および勲章が手渡された。

岩佐校長より、稲葉元校長の長年にわたる教育研究活動や学校運営に対する労いと受章への祝辞が述べられた後、稲葉元校長より謝辞および津山高専の更なる発展への期待のお言葉が述べられた。

### ○先端技術特別講義

12月5日（月）に合併教室で、専攻科の本年度第6回先端技術特別講義が、ボランティアレクチャーとして実施された。



講師は備商株式会社の方々に、次のテーマで講演された。

「働きやすさと働きがい」

備商株式会社

代表取締役社長 上野 雅史 様 ほか3名

はじめに上野様から、テーマのなかにある「働きやすさ」と「働きがい」の違いについて会社紹介を兼ねてご説明いただいた。

「働きやすさ」とは働く者に会社が提供するもの、「働きがい」とは働く者が創り出すものであること、多様な人間関係の中で組織として成果を出し成長していくためには、仕事をやりやすくするための工夫が、与えられた仕事を達成することで自己実現を図ることが、双方でそれぞれなされていることを実例を交えながらお話いただいた。

その後、総務・人事の立場から白神様と得納様からは、それぞれの立場で仕事に向き合う姿勢について経験談を交えてご紹介いただいた。

最後に、本校卒業生である流羽様から、配属された部署でのお仕事の様子や自身の就活での会社選択と現在の思い、在校生へ伝いたいことのお話をいただいた。

質疑応答では、複数の学生から踏み込んだ質問があり、盛況に講演会を終えることができた。

備商株式会社の皆様、そして本講演会を準備くださいましたつやま産業支援センターの皆様に、厚くお礼申し上げます。

### ○津山高専技術交流プラザ企業PR会

12月6日（火）～7日（水）に、津山高専の学生に地域企業の事業内容・製品・技術などを知ってもらうこと、また学生に将来を考えるきっかけを与えることを目的に、岡山県北をはじめ県下の製造業企業などで構成された津山高専技術交流プラザによる「津山高専技術交流プラザ企業PR会」が開催された。

企業PR会は今年は2日間の開催となり、津山高専技術交流プラザ会員企業120社のうち57社が出展し、新型コロナウイルス感染防止に努めながら開催した。

各社は、開設した各ブースで事業内容の説明のほか、それぞれが用意した製品や材料などの展示品や動画を用いて、各社が売りにしている物や技術などを紹介していた。

会場となった第二体育館では、2日間でのべ380名の学生が、興味のある企業のブースへ行き、担当者からの説明を熱心に聞いていた。

出展いただいた企業の方々および関係者の皆様に、深くお礼申し上げます。

### ○国際シンポジウムにて研究発表

12月7日（水）に、タイ王国プリンセスチュラポーン・サイエンスハイスクール（PCSHS）科学技術研修に参加した学生7名が、国際シンポジウムにて研究発表を行った。

国際シンポジウム（International Research Symposium Japan-Thai）は、今年で5回目を迎え、ここ2年間はオンラインでの実施だったが今年は現地開催となった。

### ○つやまロボコンに（PCSHS）プリラム校の学生が参加

12月11日（日）に行われた「第27回つやまロボットコンテスト」に、タイ王国プリンセスチュラポーン・サイエンスハイスクール（PCSHS）プリラム校の学生2名が参加した。新型コロナウイルスの影響によりタイチームの津山での参加は3年ぶりとなったがタイチームはアイデア賞を受賞した。

## ○先端技術特別講義

12月12日（月）に合併教室で、講師の先生をお招きして、本年度第7回目の先端技術特別講義を、次のテーマで実施した。

「ネットワークセキュリティとプライバシー保護技術」

兵庫県立大学大学院 情報科学研究科 田中 俊昭 先生

兵庫県立大学大学院 情報科学研究科の説明に引き続き、ネットワークでの「暗号化の仕組み」について講義をしていただいた。

まず「暗号化の仕組み」を理解するための知識として、「暗号技術」について説明いただき、その後「認証方式」「生体認証」の技術について順を追って講義していただいた。

さらに、暗号化の社会実装の例として、SSL/TLS、シングルサインオン、拡張認証プロトコル(EAP)、人工物メトリクスなどを紹介くださった。

参加した専攻科生は、普段から使いなれているネットワークの認証に関する技術を、改めて確認していた。

質疑応答では、学生から安全性と利便性という視点で質問があり、講師の先生から応答いただく場面で講義が終了した。

インターネットやコンピュータを安心して使い続けるため必要不可欠である認証技術について、短時間で専門でない者にとってもわかりやすく説明していただいた。

最後になりましたが、田中先生にお礼申し上げます。

## ○合同研究発表会2022（オンライン）

12月13日（火）に、本校の海外協定校である中国の大連東軟信息学院と中四国地区高専の学生が研究発表を行う「合同研究発表会2022 オンライン」を開催した。

今年度も昨年度に引き続き新型コロナウイルスの影響によりオンラインでの開催となったが、大連東軟信息学院から15名、中四国地区高専からは16名の各高専学生が参加した。

専門的な発表だけでなく語学や国際交流についての発表も行われ、参加した学生や教員は、さまざまな分野の発表に興味深く耳を傾け、質疑応答も活発に行われた。

## ○津山高専技術交流プラザ会員企業への津山高専教員の研究内容紹介

12月15日（木）に、津山高専技術交流プラザ会員企業の皆様へ、津山高専教員の研究内容紹介を実施した。

これは、これまで研究室訪問という形で行っていたものを、（新型コロナウイルス感染症対策の一環として）狭い研究室での実施を避けるために、実施形態を変更して開催したもの。

年末の慌ただしい時期の開催となっていたなかで、多くの皆様に聴講いただいた。

参加いただいた企業の皆様には、心よりお礼を申し上げます。

今回は、守友博紀講師（先進科学系）、山田貴史准教授（機械システム系）、山本綱之准教授（電気電子システム系）、森理也准教授（情報システム系）の教員4名の研究内容紹介であった。

まず、香取地域共同テクノセンター長から挨拶があり、その後、各教員の研究内容紹介があった。守友講師は、有機化合物や金属錯体をベースとした発光材料の開発が専門であり、現在「合成した発光性の材料を、粘土鉱物のような無機層状化合物の層間スペースやナノエマルジョン（ナノ油滴）の中へ包含させて、ハイブリッド材料へする」ことで、デバイス応用や生体イメージングへの応用を目指しているとの紹介があった。化学系の研究の紹介が津山高専では初めてだったこともあり、参加者全員が興味を持って聞いていた。

山田准教授は、流体工学が専門でありながら歯学関係の勉強もされた経験もあり、「気流に関する実

験や解析」のみならず、「入れ歯やマウスピースの中に種々のセンサーを埋め込むことにより、健康管理を簡便にすることができないか」など、Well-beingに関する研究をされているとの紹介があった。

気流に関する研究の事例紹介として、プラズマを発生させるとその部分の気体の流れが変化の様子の動画には、多くの参加者が興味を持たれていた。

山本准教授は、無線電力伝送が専門であり、その分野の歴史や将来性についての説明があった。

この分野が20世紀後半に「宇宙で太陽光発電したエネルギーを地球に伝送する」ことを目的に始まったこと、今後は電気自動車への給電システムなど、多くの分野に利用される技術であるとの説明があった。

このような最先端の研究がなされていることに、「非常に楽しみだ」という感想をくださった参加者もいた。

森准教授は、「脳波を検出して、コンピュータや外部機器をリアルタイムに制御する」ことを目的とした研究をしているとの紹介があった。

そして実際に脳波をどのように取得するのか、取得する脳波がいかに微弱であるか、その微弱な信号をどのように処理するのかなどのていねいな説明があった。

この分野の情報に接する機会があまりないこともあり、参加者は興味を持って聞かれていた。

研究紹介終了後、参加された企業の皆様に2020年に新しくなった実習工場の見学をしていただいた。

ちょうど授業中でもあり、学んでいる学生の様子も見ていただくことができた。

## ○日タイ学生ICTフェア2022

12月19日（月）～25日（日）にかけて、タイ王国プリンセスチュラポーン・サイエンスハイスクール（PCSHS）チェンライ校で開催された日タイ学生ICTフェア2022に本校の学生2名が参加した。

新型コロナウイルスの影響により、本校からは3年ぶりの参加となった。

日タイ学生ICTフェア2022は、タイ教育省、タイ基礎教育委員会、PCSHSと優秀学生科学教育事務局により主催され、タイ王国の高校生174人と日本の高専生および高校生52人が集まった。

本校の学生2名はポスター発表及び口頭発表を行い、高く評価された。

## ○第57回全国高等専門学校体育大会・第53回全国高専ラグビーフットボール大会

1月4日（水）～9日（月）、神戸ユニバー記念競技場にて開催された第57回全国高等専門学校体育大会・第53回全国高等専門学校ラグビーフットボール大会において、本校ラグビー部が準優勝の成績を収めた。

結果は以下のとおり

2回戦 津山高専 35－12 鈴鹿高専（関東信越・東海北陸地区代表）

準決勝 津山高専 29－7 久留米高専（九州沖縄地区第一代表）

決勝 津山高専 7－38 仙台高専（名取）（東北地区第一代表）

最終成績：準優勝

## ○寮生集会

1月10日（火）19時40分から、3年ぶりに冬季休業後の寮生集会を、第二体育館で実施した。

寮務主事、寮務主事補、寮生会長および寮生会から、寮生活における注意事項や連絡事項について話があった。

## ○推薦入学者選抜試験

1月17日（火）に、令和5年度本科推薦入学者選抜試験を実施し、選抜の結果、1月23日（月）に次のとおり合格内定者を発表した。

志願者数 154名（総合理工学科）

合格内定者 80名（総合理工学科）

### ○岡山県工学教育協議会

1月21日（土）岡山県内の工学系教育機関（岡山大学、岡山理科大学、岡山県立大学、中国職業能力開発大学校、本校）で構成される岡山県工学教育協議会の令和4年度教育シンポジウムが開催された。

「異分野協働を意識した工学教育」をテーマに設定し、各機関で取り組まれている教育方法などについて紹介があった。最新の技術や特色のある教育方法を情報共有し、活発な質疑応答が行われた。

### ○中国地区高等専門学校学生国際交流支援コンソーシアム連絡会（第13回目）

1月24日（火）に、オンラインにて、中国地区高等専門学校学生国際交流支援コンソーシアム連絡会（第13回目）を開催した。中国地区の8高専から国際交流担当の教職員が集まり、令和4年度事業報告と令和5年度活動計画について報告が行われた。

### ○推薦入学者選抜試験追試験

1月27日（金）に、令和5年度本科推薦入学者選抜試験追試験を実施し、選抜の結果、1月30日（月）に次のとおり合格内定者を発表した。

受験者数 2名（総合理工学科）

合格内定者 1名（総合理工学科）

### ○第16回全国高等専門学校英語プレゼンテーションコンテスト

1月28日（土）～29日（日）に開催された第16回全国高等専門学校英語プレゼンテーションコンテストシングル部門に平松鴻志さん（3-M）が参加した。

### ○第4回FD研修会

1月30日（月）13時30分から、令和4年度第4回FD研修会を開催した。

今年度は、「本校の教育・活動の現状と将来に関して」を年間テーマに設定し、FD研修会を計画している。

第4回となる今回は、「R4質保証重点5項目に関する報告会」というテーマで、「R4年度質保証重点5項目の現状と今後の課題」について発表した。発表後は、全体で質疑応答が行われた。

なお、本研修会はオンラインで同時開催され、多くの教職員がオンラインで参加している。

#### ・発表題目と発表者

- |                          |         |        |     |
|--------------------------|---------|--------|-----|
| 1. ポートフォリオ教育の実施          | 先進科学系   | 江原 由美子 | 准教授 |
| 2. 実験スキル計測の実施            | 情報システム系 | 曾利 仁   | 教授  |
| 3. 分野横断的能力の育成の実施         | 情報システム系 | 薮木 登   | 教授  |
| 4. ピアサポーター育成の実施【後日報告】    |         |        |     |
| 5. 学生情報の集約および共有の実施【後日報告】 |         |        |     |

### ○退寮説明会

2月2日（木）15時から、多目的ホールにて退寮説明会を行った。

寮務主事から卒業・修了予定者と退寮希望者に向けて、退寮する際の手続きや注意事項などについて説明があり、寮生会から卒業記念として茶菓子和飲み物が配布された。

## ○ロボット技術研究部がプロバスケットボールのハーフタイムショーに出演

2月5日（日）に津山市総合体育館で行われたプロバスケットボール試合のハーフタイムショーにロボット技術研究部が出演し、岡山を本拠地とするトライフープ岡山のマスコットキャラクター「トライブ君」とバスケットボールの共演を行った。

ロボット技術研究部は「トライブ君、久しぶり！今日も良いパスをおくるぜ！ By期末試験直後でロボロな津山高専ロボット技術研究部」と題し、部員が製作したロボットがトライブ君にパスを投げ、トライブ君がシュートを決める演出だった。

ロボットはボールを三投し、一回目はバウンドパス、二回目はダイレクトパスを送りだし、トライブ君は見事キャッチしてシュートに成功した。

しかしながら、三投目はスペシャルパスとして、（予定にはなかったサプライズとして）ロボットによる直接シュートを行い、会場を大いに沸かせることができた。

## ○SD研修会

2月6日（月）14時30分から、SD研修会を開催した。

本校では、教職員が学校運営に必要な知識・技能を身に付け、能力・資質を向上させるために組織的に取り組む活動としてSD（スタッフ・ディベロップメント）研修会を行っている。

今回のSD研修会では、令和4年11月末から12月にかけて開催された、高専機構グローバルSD研修（マレーシア・ペナン）に参加した伊豆野事務職員による海外研修報告会が行われた。グローバルSD研修の概要、職員自身の得た経験等についての報告がされ、その後質疑応答の時間が設けられた。

また、本研修会はオンラインでも開催されており、多くの教職員が参加をしている。

## ○海外研修説明会

2月7日（火）に、次年度向けの海外研修説明会を開催した。グローバル化に対応できる国際的技術者育成のため、プログラムごとに担当教員がプログラムの内容や魅力について説明があり、学生や保護者・教職員の総勢96名が参加した。

## ○寮生会抽選会

2月9日（木）19時20分から、国際交流ホールにて寮生会が抽選会を行った。

抽選会は実施を予定していたビンゴ大会が新型コロナウイルス感染症の影響で何度か延期されたため、その代替行事として行われた。

寮生は前日の夜点呼時に配布された抽選券を持って居室で待機し、寮内放送で当選番号が発表されると国際交流ホールなどで景品を受け取った。

## ○学力入学者選抜試験

2月12日（日）に、本校及び岡山会場において、令和5年度本科学力入学者選抜試験を実施し、選抜の結果、2月28日（火）に次のとおり合格者を発表した。

|      |              |
|------|--------------|
| 志願者数 | 171名（総合理工学科） |
| 合格者数 | 145名（総合理工学科） |

## ○海外企業インターンシップ（ベトナム）

2月26日（日）～3月11日（土）にかけて、海外企業インターンシップ（ベトナム）に学生1名が参加した。今回実習をさせていただいたNAKASHIMA VIETNAM CO., LTD. は、岡山市に本社をおく、各種船舶用プロペラの製造メーカーです。

船舶用プロペラの世界トップシェアをもち、ベトナム、シンガポール、フィリピン、上海に海外拠点をもっており、今回の受入れ先はベトナムの現地法人であった。

学生は就業体験のみならず、就業後の時間に現地スタッフの方にいろいろなところへ連れて行っていただき、ベトナム文化を肌で感じる事ができた。

### ○津山高専技術交流プラザ・津山商工会議所合同産学連携交流会

3月2日(木)に、津山高専技術交流プラザ・津山商工会議所合同産学連携交流会が開催され、津山高専教職員および津山高専技術交流プラザ会員企業、津山商工会議所会員企業、津山市などから、リアル・オンラインあわせて約40名が参加した。

今回はDX(デジタルトランスフォーメーション)に関する知見を深めることを目的に、株式会社山本金属製作所岡山研究開発センターの松田亮氏をお招きし、「機械加工現場でのデジタル技術活用」と題して、ご講演いただいた。

株式会社山本金属工業は2022年3月に「DXセレクション2022グランプリ」を受賞された。

「DXセレクション」とは、経済産業省が中堅・中小企業等のDXのモデルケースとなるような優良事例を選定し表彰するもので、16社が選定されています。

その中で最優秀賞であるのが「グランプリ」です。

交流会の次第を以下に示す。

1. 津山高専技術交流プラザ 生駒会長の開催挨拶
2. 株式会社山本金属製作所岡山研究開発センター 松田亮氏による講演
3. 津山高専キャリア教育委員長 西尾公裕教授による「高専のキャリア教育推進状況」
4. その他

まず、津山高専技術交流プラザの生駒会長より、開会の挨拶があった。

そこでは、「コロナ感染症がきっかけとなりDXが急速に進んだように感じる。このように急激に変化する環境の中で津山高専技術交流プラザ会員企業の役割として、高専卒業生を受け入れることが出来るように、さらに技術力を高め続けていくことが重要であると感じる」とのコメントがあった。

次に、松田亮氏の講演があった。

ここでは株式会社山本金属製作所が「加工事業」「ロボットSler事業」「加工ソリューション事業」「機械加工に特化した高度技術者教育支援事業」の4つの事業展開をしていること、関わる業界は「自動車」「エネルギーインフラ」「半導体製造装置」「航空・宇宙」「船舶」「工作機械」「油圧機械」「医療」など多岐にわたることの説明があった。

そして、「加工ソリューション事業」の中で、今回のテーマである「機械加工現場でのデジタル技術活用」事例を多く紹介いただいた。

「加工状態のモニタリング」「残留応力計測」をはじめとして「機械加工の最適化を支援するサービス」について多くの事例を紹介いただいた。

この中で紹介された各種IoTデバイスを用いた工具の寿命判定技術は、参加された企業の皆様が関心を寄せていた。

続いて、津山高専のキャリア教育委員長である西尾公裕教授より「高専の卒業生の就職進学状況」についての報告があった。

ここでは、R4年度の求人倍率が34.8倍であったこと、岡山県内への就職者が20%未満で過去5年の中で最低であったこと(平均は25%程度)が報告され、最後に津山高専が学生に5年間を通して、どのようなキャリア教育を行っているか、そして津山高専技術交流プラザの企業の皆様から「企業PR会」「企業見学バスツアー」「インターンシップ」「ボランティアレクチャー」など協力を頂いているという報告があった。

最後に、津山高専より「津山高専・岡山大学・日本原子力開発機構の三者が主催するEReTTSa

が3月14日に開催される」との紹介があり、つやま産業支援センターより「地域創生とソーシャルビジネスの役割に関する講演が3月15日に開催される」との紹介があった。

津山高専技術交流プラザは、津山高専と津山産業界などとの交流を深めることにより、地域産業の発展に寄与するとともに、津山高専の教育研究の振興を図ることを目的としており、さらなる産学交流のため、津山商工会議所との合同産学連携交流会を年2回開催している。

### ○シンガポール科学技術研修

3月3日（金）～19日（日）にかけて、シンガポールのニーアンポリテクニクで行われる科学技術研修に学生12名が参加した。本研修は日本学生支援機構から旅費の支援を受けて実施しており、2週間のプログラムであり、授業や観光を通じて文化理解、国を越えての仲間づくりなど、この2週間で大きな学びを得ることができた。

### ○韓国永進専門大学語学研修プログラム

3月3日（金）～18日（土）にかけて、韓国永進専門大学・英語村で行われていた語学研修プログラムに学生15名が参加した。本研修は宇部高専主催の研修で、韓国テグ市の永進専門大学の英語村にて行われる2週間の研修プログラムであり、英会話、地理などの講義や各種施設を使用した体験授業、文化交流などを行われ、週末は現地の学生と、大邱市内を一緒に観光したり異文化交流を深めた。

### ○国立聯合大学専門研修

3月4日（土）～4月1日（土）にかけて、台湾の国立聯合大学で行われる専門研修に学生1名が参加した。本研修は、宇部高専主催の4週間の研修プログラムで、中国語授業、専攻に合わせた研究室附属、文化交流等が行われた。

約4週間の研修で、多くのことを体験し学び、現地の人たちとも交流を深めることができた。

### ○入学説明会、入学手続き

3月5日（日）と3月18日（土）の2回にわたり、本科入学者選抜試験合格者を対象に、必要書類等の提出・物品購入等の入学手続きを行った。

また、3月18日（土）には、専攻科及び編入学予定者の入学手続きも同時に実施した。

入学者の確定数は次のとおりである。（国費及び外国政府派遣留学生を除く）

本科1年生：総合理工学科 165名

本科4年生：総合理工学科

電気電子システム系 1名

専攻科：機械・制御システム工学専攻 5名

電子・情報システム工学専攻 12名

### ○韓国永進専門大学校を表敬訪問

3月6日（月）～7日（火）に、本校校長をはじめ、国際交流センターの教員4名が協定校である永進専門大学校の語学研修に参加する学生の引率と激励を兼ねて、同大学を表敬訪問した。崔宰榮（チェ・ジェヨン）総長をはじめ国際交流院の錢相杓（ゼン・サンピョ）教授らの温かい感激を受け、今後の両校の交流に非常に期待が持てる視察となった。

なお、今回の表敬訪問は、宇部高専の田川晋也教授の呼びかけのもと実施され、第4ブロックの高専教職員の永進専門大学校視察の一員として行われた。

## ○第5回FD研修会

3月7日（火）15時00分から、令和4年度第5回FD研修会を開催した。

今年度は、「本校の教育・活動の現状と将来に関して」を年間テーマに設定し、FD研修会を計画している。

第5回となる今回は、「津山高専の教学マネジメント戦略はどうあるべきか」というテーマで発表が行われ、発表後は全体で質疑応答が行われた。

なお、本研修会はオンラインで同時開催され、多くの教職員がオンラインで参加している。

・発表題目と発表者

「津山高専の教学マネジメント戦略はどうあるべきか」 先進科学系 松田 修 教授

## ○寮生会活動報告会・北辰寮後援会役員会

3月12日（日）の午前中に、寮生会活動報告会および北辰寮後援会役員会が行われた。

寮生会活動報告会では、寮生会の各委員会から寮務委員会および北辰寮後援会へ、今年度の活動や来年度の方針等が報告された。

また、会計担当からは今年度の会計報告と来年度の予算案が提示された。

北辰寮後援会役員会では、後援会役員会の役員が集まり、後援会の決算・予算報告が行われ、北辰寮の運営等について話し合いが行われた。

## ○中国地区高専第30回コンピュータフェスティバル

3月15日（水）～16日（木）に、大島商船高等専門学校で中国地区高等専門学校第30回コンピュータフェスティバルが開催され、システム研究部が参加し、競技部門、ゲーム部門、メディアコンテンツ部門で優秀な成績を収めた。

## ○卒業式・専攻科修了式

3月16日（木）10時30分からベルフォーレ津山において、令和4年度津山工業高等専門学校卒業式・専攻科修了式を挙行了した。

卒業生153名と専攻科修了生22名が、就職や進学などそれぞれの道へ決意を新たに踏み出した。

岩佐校長から、各系総代の学生に卒業証書が、専攻科総代の学生に修了証書が手渡されるとともに、はなむけの言葉が贈られ、来賓・保護者・教職員が見守るなか、感動に包まれる式典となった。

また、谷口津山市長と津山高専後援会の平田会長から祝辞があり、表彰状授与では、岩佐校長から優秀賞、谷口津山市長から箕作賞が贈られた。

## ○退職者に係る永年勤続者表彰式

3月24日（金）に令和4年度退職者に係る永年勤続者表彰式を執り行った。

表彰状及び記念品が授与された後、校長から祝辞があり、被表彰者の室溪 浩学生課専門員より謝辞があった。

・退職に係る永年勤続者表彰式 被表彰者 室溪 浩 学生課専門員

## ○退任式・離任式

3月24日（金）、令和4年度退職者及び転出者の退任式・離任式を執り行った。今年度の退任式・離任式についても、昨年度に引き続き新型コロナウイルス感染予防の観点から、本校教職員へのオンライン配信を同時に行った。

退職者及び転出者の紹介の後、各人から挨拶があり、最後に感謝の意を込めて花束が贈呈された。



## ○共同研究

研究題目 収穫量自動集計秤の改良に関する研究  
本校担当者 情報システム系 寺元 貴幸  
経 費 直接経費 221,400 円 間接経費 22,140 円  
研究期間 令和4年12月1日～令和5年3月31日

## ○寄附金

寄附者 北辰寮後援会長  
寄附の目的 寮生の厚生福祉助成金（寮母）  
寄附年月日 令和5年3月24日  
寄附金額 300,000円

寄附者 津山高専技術交流プラザ  
寄附の目的 高専プラザ会員企業と津山工業高等専門学校との連携促進  
寄附年月日 令和5年3月20日  
寄附金額 300,000円

寄附者 津山高専技術交流プラザ  
寄附の目的 高専プラザ企業と津山工業高等専門学校との連携促進  
寄附年月日 令和5年3月20日  
寄附金額 73,500円

寄附者 津山高専技術交流プラザ  
寄附の目的 高専プラザ会員企業の地域共同テクノセンター利用促進のため  
寄附年月日 令和5年3月20日  
寄附金額 503,500円

寄附者 津山圏域工業会  
寄附の目的 教育・研究への助成金として  
寄附年月日 令和5年3月29日  
寄附金額 100,000円

寄附者 (公財)中国電力技術研究財団  
寄附の目的 「複数の圧電ファンが作り出す誘起流の風向コントロールに関する  
実験的研究」の研究助成  
寄附年月日 令和5年3月30日  
寄附金額 500,000円

発 行 津山工業高等専門学校  
発行年月日 令和5年 5月29日